



2024年11月12日

全米各地で2024年度のホリデーシーズンを彩る クリスマスイベントが各種開催

本年もクリスマスシーズンが到来し、年末にかけてアメリカ合衆国各地では多彩なクリスマスイベントが開催されます。ニューヨークでは世界的に有名なロックフェラーセンターの豪華なクリスマスツリー点灯式、フロリダではビーチでサーフィンに乗ったサンタクロースが華麗な波乗りを披露する「サーフィンサンタ」、カリフォルニアでは、鮮やかなクリスマスデコレーションを施したボートによる海面上でのボートパレードなど、アメリカならではのクリスマスイベントが各種開催されます。アメリカの公式観光促進情報サイト、GoUSA では、本年アメリカ国内各地で開催されるクリスマス関連のイベントの概要を公開しました。

北東部と中部大西洋地域のクリスマス

ニューヨーク市では、ロックフェラーセンターの高くそびえるクリスマスツリーがホリデーシーズンを象徴する必見スポットとして有名です。また、メイシーズやサックス・フィフス・アベニュー、バーグドルフ・グッドマンなどの高級デパートで展開されるウィンドウディスプレイ、メトロポリタン美術館のナポリバロック風クレッシェ（キリスト降誕の場面を表現した作品）、ニューヨーク・シティ・バレエの「くるみ割り人形」、同市に拠点を置く世界的に有名なダンスカンパニー、ラジオシティ・ロケッツによる「クリスマス・スペクタキュラー」など、クリスマスシーズンを一層盛り上げるニューヨークならではの華やかなイベントが各種開催されます。ブライアントパーク、ユニオンスクエア、グランドセントラルでは、ホリデーシーズン限定のユニークなマーケットがオープンし、クリスマスギフトやデコレーションなどのショッピングをお楽しみいただけます。また、ユダヤ教の冬の祝祭「ハヌカー」を祝して、12月25日から8夜連続で、5番街と59丁目の交差点に設置された巨大なメノーラ（ヘブライ語でローソクをともし「燭台」を意味する）が点灯されます。

ワシントン D.C.では、ホワイトハウス南側の広場「エリプス」でナショナルクリスマスツリーや、巨大なメノーラキャンドルへの点灯式「ナショナルメノーラ」が開催されます。アメリカ連邦議会議事堂西側の芝生に立つキャピトルツリーやスミソニアン国立動物園でのイルミネーションイベント「ZooLights」、米国植物庭園でのモデル列車ショー（アメリカ国内外の有名な建築物がミニチュアで再現され、小さな列車が走り抜けるイベント）や数千株のポインセチアが特別展示されます。お薦めのホリデーショッピングの場所としては、スミソニアン・アメリカン・アート・ミュージアムの外で開催されるダウントウン DC ホリデーマーケットやワシントン D.C. 有数の繁華街、デュポンサークルの DC ホリデーマーケットなどが挙げられます。

バージニア州には、18世紀のバージニア植民地時代の街並みを再現し、当時の暮らしのまま生活する人々が観光客を案内する野外博物館「コロニアル・ウィリアムズバーグ」があります。同施設では、アメリカがまだイギリス植民地であった初期アメリカのクリスマスの歴史をテーマにしたツアー、ストリートシアタ



ー(屋外で行われる演劇)、当時の楽器を使った音楽の演奏会、伝統的な手工芸品を体験できるクラフトワークショップ、特別メニュー(植民地時代のレシピを再現した料理)など、多彩なイベントが開催されます。

コロニアル・ウィリアムズバーグ近隣のブッシュガーデンズ・クリスマスタウンでは、北米最大級のイルミネーションディスプレイとクリスマスショーに加え、サンタのファイヤーサイドフィースト(暖炉のそばでサンタと一緒に楽しむ食事イベント)やホリデーショッピングなど、家族全員でお楽しみいただけるアトラクションが多数揃っています。

冬の休暇地として知られるバーモント州には、ウッドストック、マンチェスター、グラフトン、ストウといった絵のように美しい町や、同州最大の都市バーリントンが有名です。ダウンヒルスキーやクロスカントリースキー、そり、スノーシューやスノーモービルをご堪能いただけるほか、ウィンタースポーツの後に暖炉のそばでホットチョコレートを片手に寛ぐのも格別です。

1741年のクリスマスイブに創設された、ペンシルベニア州東部に位置するベツレヘムは、‘クリスマスシティ’として知られています。同市の歴史地区では、当時の衣装をまとったガイドと共に散策することができます。ベツレヘムの南側に位置する、同市のランドマークであるサウス・マウンテン山頂には、高さ約 28メートルの巨大な星型のイルミネーション「マウンテントップ・スター」が今冬出現します。当イルミネーションは、ベツレヘム・パイ・ナイトバスツアーにご参加いただくと、間近で眺めることができます。同市では、クリストキンドルマルクト(ヨーロッパで伝統的に開催されるクリスマスマーケット)やヨーロッパのホリデーマーケットをモデルにしたクリスマスシティビレッジでのショッピングをお楽しみいただくことができます。12月1日からクリスマスまでのカウントダウンを楽しむ「ライブアドベントカレンダー」シリーズでは、伝統的なクリスマスソングやキャロルの生演奏、クリスマスやホリデーシーズンにまつわる伝統的な物語や童話の朗読、クリスマスシーズンに親しまれてきた伝統菓子の提供など、様々なアクティビティが開催されます。

中西部のクリスマス

町の名称がサンタクロースというインディアナ州の同町には、1935年にオープンした、アメリカ初のクリスマステーマの施設‘サンタのキャンディキャッスル’があり、同施設の焚火で栗を焼いてクリスマスの雰囲気をお楽しみいただけます。また、サンタクロース・クリスマスストア(クリスマス関連の装飾品やギフト、オーナメントが豊富に揃う専門店)では、ショッピングやクリスマスクッキーのデコレーション、サンタとのクリスマスディナーをご堪能いただけます。インディアナ州の州都インディアナポリスでは、アートと自然を融合した文化施設「ニューフィールズ」の広大な庭園がライトアップされる「ウィンターライツ」が開催されます。世界最大規模の子供向け博物館、インディアナポリス子供博物館では「ウィンターフェア」が開催され、クリスマスの装飾が施された展示やアクティビティが実施されます。また、ドイツの伝統的なクリスマスマーケットを再現したアテナエウム・クリストキンドルマルクトは、ショッピングに最適なスポットとして賑わっています。



オハイオ州コロンバスのジャーマンビレッジでは、石畳の通りとクリスマス装飾が施されたヨーロッパ風のホリデーマーケットが体験でき、同州東部に位置する小さな町、スチューベンビルにある、くるみ割り人形村では、215 体の実物大の手作りくるみ割り人形や世界中の 400 点のクレッシュが展示されます。同州北部の都市、クリーブランドには、1983 年に公開されたクリスマス映画『クリスマス・ストーリー』(原題: A Christmas Story)に登場した住居が「クリスマス・ストーリー・ハウス」として保存され、撮影当時のセットをご覧いただけます。

イリノイ州シカゴでは、ホリデーショッピングのエリアとして象徴的なマグニフィセント・マイルや、ダウンタウンで開催されるクリストキンドルマルクト(ドイツの伝統的なクリスマスマーケットを再現したイベント)をお楽しみいただけます。マギー・デイリーパークのスケートリボン(公園内をくねくねとした形で滑ることができる屋外スケートリンク)では、高層ビルの美しいスカイラインやミシガン湖の壮大な景色を眺めながらのスケートをお楽しみいただけます。同市のグリフィン科学産業博物館の 50 本の装飾ツリー、リンカーンパーク動物園、シカゴ植物園、モートン植物園のイルミネーションも必見です。劇場ファンは、シカゴの伝統的なホリデー公演である『クリスマス・キャロル』や、『素晴らしき哉、人生!』の舞台公演がお薦めです。

ミネソタ州ミネアポリスでは、本年 12 月 18 日から 22 日にホリダズル・フェスティバル(Holidazzle Festival)が開催され、インタラクティブなライトディスプレイ、ポップアップマーケット、ライブ音楽が開催されます。ミネアポリス近郊の全米最大のショッピングモール「モール・オブ・アメリカ」は、ショッピング、サンタとエルフとの交流、豪華なデコレーション、キャンディーケイン(白と赤のストライプ模様が特徴の杖の形をしたミント風味のキャンディ)の製造過程や歴史を学ぶことができる、キャンディーケイン・インスティテュートでの体験型アクティビティなど、家族連れに人気のスポットです。同州北部を指す、北のクリスマスシティ('Christmas City of the North')として知られるダルースでは犬ぞりをはじめ、同市を代表する壮大なクリスマスイルミネーションイベント「ベントリービル・ツアー・オブ・ライツ」、オーロラ観賞といった冬のアクティビティをお楽しみいただけます。

アメリカ南部および南東部

ルイジアナ州ニューオーリンズでは 12 月 20 日から 30 日まで、「NOLA クリスマスフェスト」が開催され、スケートリンク、ジンジャーブレッドで作られた建物の精巧なミニチュアが展示されるジンジャーブレッド村、カーニバルライドをお楽しみいただけます。市内の複数のレストランでは、「夜通しの祝宴」を意味する、「レヴェイオン」(クリスマスイブに長い時間をかけて食事を取る風習)を、クレオール料理のスタイルで提供されます。ニューオーリンズ・シティパークの約 10 万平方メートルに及ぶ広大なライトディスプレイやセントルイス大聖堂での無料コンサート、ジャクソン広場でのクリスマス・キャロル、ミシシッピ川沿いの大規模な焚火もお楽しみいただけます。

ノースカロライナ州アッシュビルでは、今年 9 月下旬にアメリカ南東部を襲ったハリケーン「ヘリーーン」による洪水の影響を受けましたが、多くの観光スポットが再び旅行客を迎え入れています。同市で 130 年前に完成した全米最大の個人邸宅、ビルトモア・エステートでは、「キャンドルライト・クリスマス・イブニングス」が開催されます。同イベントでは、ビルトモア・エステートが完成した 1895 年に迎えたクリスマスを再



現し、ライブ音楽、イルミネーション、暖炉での心あたたまる時間をお過ごしいただけます。また、敷地内に建てられたホテルでは、宿泊の他、邸宅や庭園のツアー、現代ガラス作家の巨匠、デイル・チフォーリ氏による壮大な作品の展示をお楽しみいただけます。

フロリダ州北東部に位置するセントオーガスティンでは、「ナイト・オブ・ライツ」が開催され、街全体が無数のライトで幻想的に彩られます。同州北西部のペンサコーラでは「ウィンターフェスト」が開催され、ライトアップやパレードが開催されます。マイアミでは「ルミノサフェスティバル」が行われ、色彩豊かなランタンやライトディスプレイが会場を彩ります。また、同じくマイアミで毎年開催される「サンタのエンチャントドフォレスト」では、クリスマスツリーのライトアップやホリデーマーケットが開催されます。12月7日のジュピター、12月14日のフォートローダーデールでは、鮮やかな装飾が施されたボートによるホリデーボートレースも必見です。12月24日の午前7時30分には、ココアビーチでサーフィンに乗ったサンタクロースが波乗りを披露するユニークなイベント「サーフィンサンタ」が行われます。ディズニーワールドでは、本年「ミッキーのベリーメリー・クリスマスパーティー」が開催され、ディズニーワールド・リゾートのテーマパークの一つ、エプコットでは、各国のホリデー伝統を紹介する「インターナショナル・フェスティバル・オブ・ザ・ホリデーズ」が行われます。ユニバーサル・オーランド・リゾートでは「グリーンチマス」が行われ、グリーンチのキャラクターが登場するクリスマスイベントが開催されます。オーランド近郊にある小さな町「クリスマス」には、巨大なサンタ像やトナカイにちなんだ通りがあり、郵便物には「クリスマス」の消印が押されるなど、クリスマスをテーマにしたユニークな観光地として有名です。

西部、北西部および南西部

コロラド州デンバーでは、11月22日から40日間続く、壮大な「マイルハイ・ドローンショー」が夜空を彩ります。また、デンバー植物園、デンバー動物園、エリッチガーデنز、チェリークリークノース、ダウンタウンで煌びやかなライトアップが点灯されます。デンバー市内では、ホリデーシーズンの伝統的な公演も数多く開催され、クレオ・パーカー・ロビンソン氏による振り付けの「グラニーダンス・トゥ・ア・ホリデードラマ」、ジャズクラブ「ダズル」でのクリスマスコンサートも人気です。

デンバー近郊のゴールデンでは、児童書で、2004年に映画化された「ポーラーエクスプレス・トレイン」（邦題：急行「北極号」）をテーマにしたアトラクション施設「ポーラーエクスプレス・トレイン・ライド」があり、クリスマス・キャロルやサンタクロースとの交流をお楽しみいただけます。全米有数のスキーリゾートのコロラドが誇る、ウィンターパークスキーリゾートへは、デンバーのユニオンステーションから直接アクセスが可能です。デンバーから130キロ離れたブレッケンリッジでは、スキー以外にも、本年12月7日にはバーニーズマウンテンドッグのクリスマスパレードも開催され、多くのバーニーズマウンテンドッグと飼い主たちが集まり、クリスマステーマの衣装やアクセサリを身にまとい、街を練り歩きます。

ニューメキシコ州アルバカーキのルミナリアツアーは、ホリデーシーズンに行われる地元の伝統的なイベントで、ルミナリアと呼ばれる紙製のランタンが広場や歩道に並べられ、町全体が温かい光で彩られます。スペイン文化の影響が強く残るサンタフェで開催される、ウィンタースパニッシュマーケットでは、地元アーティストによる手作りの工芸品やジュエリー、絵画などが並び、ユニークなホリデーショッピングをお楽



しみいただけます。カールズバッドのペコス川では、数百万のライトで彩られたリバー・ボートライドが開催され、きらびやかな光の中をボートで巡る幻想的な体験をお楽しみいただけます。さらに、タオスプロブレのような先住民のコミュニティでは、クリスマスイブに行われる「焚火」や「聖母の行列」、アドビ住宅（日干し煉瓦（アドビ）を積み上げて建てられた家）から打ち上げられる感謝・祈りを表現した、ライフル銃を空に向けて発砲する伝統的な慣習を觀賞することができます。

カリフォルニア州では、12月18日から22日の間、「ニューポートビーチ・クリスマスボートパレード」や、リバーサイドの歴史的なミッションインでの「フェスティバル・オブ・ライツ」が開催されます。ロサンゼルス周辺では、ザ・グローブのツリー、ロデオドライブのホリデーライト、パーシングスクエアのスケートリンク、12月1日に開催されるハリウッドクリスマスパレードをお楽しみいただけます。ボブ・ベイカー・マリオネット・シアターでは1969年から「くるみ割り人形」を人形劇で上演しており、ウォルト・ディズニー・コンサートホールではホリデーコンサート、観客もクリスマス・キャロルと一緒に歌って参加することができる体験型のプログラム「シンガロング」、ライブオーケストラによる映画『ホーム・アローン』の上映が行われます。

ユニバーサル・スタジオ・ハリウッドのテーマパークでは、ホリデーシーズン限定の「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」、「スーパーニンテンドーワールド」、そして絵本『グリンチ』シリーズに登場する架空の町「フー・ビル」の世界が再現され、グリンチや他のキャラクターと出会える体験型のアクティビティ「グリンチマス」が開催されます。ディズニーランドでは「クリスマスファンタジーパレード」、「眠れる森の美女の城」の氷の装飾、「イツ・ア・スモールワールド」の壮大なホリデーライトアップをお楽しみいただけます。

オレゴン州ポートランドでは、ビール好きにぴったりの「ホリデーブルーフェスト」が開催され、地元や各地から集まったクラフトビールが提供されます。また、同州西部のフローレンスでは「ビクトリアン・クリスマス・オープンハウス」が開かれ、19世紀のビクトリア朝時代の装飾や家具が再現された歴史的な建物が公開され、ビクトリア時代のクリスマスの雰囲気を感じることができます。同州中央部のベンドでは、クリスマステーマで装飾が施されたカヤックやカヌー、パドルボードが水路をパレードします。自然豊かなオレゴンでは、冬のアウトドアアドベンチャーとして、トリュフ狩り、スノーシュー、イーグルウォッチングをお楽しみいただけます。

ネバダ州ラスベガスでは、煌びやかなライトがクリスマス仕様に模様替えされ、ホリデーシーズンの装いに変わります。ラスベガス・モーター・スピードウェイでは、毎年恒例の「グリッターライトショー」が開催され、数百万個のライトが夜空を照らし、ドライブスルー形式で楽しめる豪華な光のイベントが魅力です。ラスベガス・ボールパークで開催される「エンチャントラスベガス」は、通路や壁が色鮮やかなLEDライトで装飾された巨大迷路と、宝探しゲームをお楽しみいただけます。ラスベガス近郊のヘンダーソンにあるMリゾートでは、車に乗ったまま体験できる「キャンディラッシュ」というアニメーションライトショーが開催されます。ベラージオ植物園では、冬のホリデーシーズンに合わせて花の展示がリニューアルされ、クリスマスの華やかなデコレーションで彩られます。ストリップに位置するベラージオの有名な噴水ショー



は、クリスマスの音楽に合わせた特別な演出が施され実施されます。ストリップ通りにある高級ホテル&カジノリゾート、フォンテースブローでは、今冬プールデッキがアイスリンクに変わります。

ハワイでは、南国ならではのユニークなクリスマスアクティビティが開催されます。ハワイの伝統的な宴会「ルアウ」に、クリスマスなどホリデーシーズンの要素を取り入れた「ホリデールアウ」やフラダンスのショーが行われ、ハワイの伝統文化とクリスマスが融合した、心温まるひとときをお過ごしいただけます。また、アウトリガーカヌー(細長い艇体とバランスを取るための横にせり出した浮が取り付けられたもの)に乗ってビーチに到着するサンタクロースも見所です。ホリデー装飾が施されたビーチリゾートも、ホリデーシーズンを盛り上げます。冬の時期は、ホエールウォッチングにも最適で、ハワイの海に現れるクジラたちの姿を間近で観察できる絶好のシーズンです。

プエルトリコのクリスマス

プエルトリコでは、12月初旬から1月中旬まで、約1カ月半にわたってホリデーシーズンが続くため、アメリカで最も長いホリデーシーズンと知られています。12月16日から24日には、島内の広場がクリスマスのライトアップで輝き、華やかな雰囲気になります。また、この期間中、教会では「ミサ・デ・アギナルド」と呼ばれる特別なミサが行われ、賛美歌やクリスマス・キャロルが奏でられ、信者たちが祝福と感謝の祈りを捧げます。ホリデーシーズンは、1月6日に行われる「公現祭(エピファニー)」、1月16日から20日にかけて行われるサン・セバスティアン・フェスティバル(サン・フアン旧市街で開催される大規模なお祭り)が開催されます。

「居心地の良い冬の休暇を楽しむ方から、素晴らしいショッピングや文化的なイベント、温かい気候のクリスマスを探している方まで、アメリカには様々な過ごし方があります。」(ブランド USA 社長兼最高経営責任者(CEO)、フレッド・ディクソンのコメント)

ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、アメリカを優れた旅行デステネーションとして訴求し、国外から旅行者に対しアメリカの観光施策を伝達することをその目的として、旅行促進法に基づき、アメリカ初の半官半民の事業体として設立されました。当団体は、海外からアメリカを訪れる旅行者の増加によってアメリカ経済を活性化し、世界におけるアメリカのイメージを向上させることを目的としています。2010年に Corporation for Travel Promotion (米国旅行促進協会)として設立されたこの官民組織は、2011年5月に活動を開始し、ブランド USA として事業を展開しています。オックスフォード・エコノミクス社の調査によると、ブランド USA は過去11年間のマーケティング施策により、海外からの訪米観光客が870万人増え、約288億ドル(約4兆3200億円)1ドル=150円換算レートにて計算)の消費額の増加、毎年3万6,800件を超える雇用の創出、83億ドル(約1兆2450億円)の連邦税、州税、地方税収入の増加を達成しており、その総経済効果は約630億ドル(約9兆4500億円)に上ります。

ブランド USA に関する業界向けの詳細情報やパートナーに関する情報については、TheBrandUSA.com、または弊社の [Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[X \(旧 Twitter\)](#) をご覧ください。アメリカ旅行の無限の多様性と本物の豊かな文化に



関する情報は、ウェブサイト GoUSA.jp、または [Facebook](#) (Visit The USA)、[TikTok](#)、[Instagram](#) をご覧ください。
[GoUSATV](#) では旅行動画を配信しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所（広報担当：水口、野間）

TEL:03-6261-5385 E-mail:BrandUSAJapan@aviareps.com